

令和3年度 障害者サービス担当職員向け講座

国立国会図書館と日本図書館協会の共催により、国内の図書館員等を対象に、図書館における障害者サービスの基礎的な知識と技術の習得を目的とする講座を開催します。

日程	講義 令和3年12月8日（水曜日）及び12月9日（木曜日） 体験講座 令和3年12月10日（金曜日）
開催方式	ウェブ会議システム Zoom を用いたオンライン形式 （講義・体験講座ともリアルタイム）
対象	図書館職員等
定員	講義 200 名、体験講座 40 名（先着順） ※体験講座は、講義 2 日間に参加する方のみを対象とします。
参加費	無料（ただし、講座の受講にかかる通信費等は受講者の負担とします）
申込締切	令和3年11月2日（火曜日） 定員になり次第締切

講義・体験講座の詳細は下記ホームページをご覧ください。

■講義について

令和3年度障害者サービス担当職員向け講座（国立国会図書館ホームページ）
<https://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual-kouza.html>

■体験講座について

令和3年度障害者サービス担当職員向け講座「体験講座」のご案内
（日本図書館協会障害者サービス委員会ホームページ）
<http://www.jla.or.jp/portals/O/html/lsh/2021kansai.html>

プログラム

【講義】 12月8日（水曜日） 10時から17時

- 障害者サービスと読書バリアフリー法
- 著作権法と障害者サービス
- 障害者サービス用資料の紹介
- 障害者向け機器の紹介

【講義】 12月9日（木曜日） 10時から17時

- 国立国会図書館の障害者図書館協力サービス
- 障害者サービス資料の探し方：サピエ図書館の活用を中心に（検索・相互貸借・ダウンロードなどの具体的な方法）
- 読書バリアフリー法でディスレクシア当事者として期待すること
- 枚方市立図書館「バリアフリー読書支援担当」の取り組み：視覚障害者と聴覚障害者サービスを中心に
- オーテピア高知声と点字の図書館の紹介：オーテピアの点字図書館・公共図書館の連携について
- 筑波技術大学における障害学生に対する教育・支援と視覚障害系・聴覚障害系図書館の役割
- 討議及び質疑応答

【体験講座】

詳細は、表面記載の日本図書館協会障害者サービス委員会ホームページをご覧ください。

申込方法について

講義は国立国会図書館に、体験講座は日本図書館協会に、それぞれ参加申し込みが必要です。詳細は表面記載のホームページにてご確認ください。

〈お問い合わせ先〉

国立国会図書館関西館 図書館協力課 障害者図書館協力係

メールアドレス： syo-ky@ndl.go.jp

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3

電話：0774-98-1458 FAX：0774-94-9117

